

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：山梨県 都留市

◆コンセプト：大学連携型「生涯活躍のまち・つる」の実現

- ①市内に3つの大学等が立地するという強みを活かし、「大学コンソーシアムつる」を組成
- ②大学相互の連携を深めるとともに、市民向けに「目標指向型」の「生涯学習プログラム」を提供
- ③都留文科大学卒業生等をターゲットとし、住み替え支援（二地域居住等含む）を展開

<特徴>

人口3万人規模の市に、3つの高等教育機関（県立、公立大学法人、私立）が立地するという強みを活かし、学生・高齢者・若者・子どもが活躍し、移住者からも市民からも「魅力的なまち」と実感いただける「市民全体の豊かな暮らし」を目指します。



市内2つのプロジェクトを推進

ストック（旧雇用促進住宅）活用の「単独型居住プロジェクト」と、都留文科大学キャンパス近くに新規開発の「複合型居住プロジェクト」の2つのプロジェクトを推進。

すでに「単独型居住プロジェクト」は事業者により事業実施中（R1.9～）であり「複合型プロジェクト」については地域交流拠点「NICOT」が先行オープンする（R5.4～）。



○複合型居住プロジェクト
田原交流センター「NICOT」



○単独型居住プロジェクト
「ゆいまぐる都留」

大学コンソーシアムつる

3校が連携し、生涯学習プログラム（まち魅力向上）、地域貢献事業（地域活性化）、相互の連携交流（大学質向上）など、「生涯活躍のまち・つる」の特色を強化する取組を実施。



○学生主催
「産官学連携イノベーションマイクロリズム」

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 市内下谷地区のサ高住に、地域交流センターを整備
- 地域交流センターを中心に移住者と地域住民との交流会を開催

【今後の展開】

- 既存の施設を利用して、移住者・地域住民・学生・高齢者など多世代が交流できる機会の創出
- 複合型居住PTでは、子どもから高齢者まで、多世代が活用できる機能を整備

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- R2に推進協会の後継法人を立ち上げ、地域再生推進法人に指定
- 当該法人を中心に生涯学習プログラムや仕事づくりの取組を実施

【今後の展開】

- 起業、人材育成、産業振興を目的としたインキュベーションとマッチング機能を備えたプラットフォームの創設
- 全世代が安心してやりがいを感じるここのできるディーセントワークの定着
- リモートワーク環境の整備

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- 健康維持・増進と多世代交流の拠点として健康ジムを開設
- 健康教室や健康プログラム（健康増進・介護予防業務）を開催

【今後の展開】

- 市内の各地域で、多世代が参加できる健康プログラムを開催できるよう、実施場所や機会の拡大を図る
- 本市に着任している地域活性化起業人による市内での健康教室開催

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 旧雇用促進住宅を、事業者がサ高住に改修し運営（単独型PT）
- 市有地にサ高住等複数施設を複合的に整備中（複合型PT）

【今後の展開】

- 単独型PTは、R1.9末にサ高住「ゆいまぐる都留」（2棟80室）が完成、市内外から居住し、常に満室。
- 複合型PTの交流拠点はR5.4オープン。サ高住事業者は、現在公募中

コミュニティへの人の流れ

- R1.6に新たな移住窓口「カラフル」を都内に開設し、東京圏での積極的なPR活動を実施
- 市役所の隣りに、お試し居住もできる移住・定住相談センターを整備し、「カラフル」との連携により市内訪問

その他特徴的な取組

- 企業版ふるさと納税（人材派遣型）制度の活用
- 地域活性化起業人制度の活用
- 地域再生推進法人が主体の事業を展開
- R3.8セーフコミュニティ国際認証取得
- R4.7市民大学「シリウスカレッジ」開講

基礎データ

- ・人口：28,795人（令和5年3月末時点）
- ・H27.10 都留市版 生涯活躍のまち事業を盛り込んだ都留市総合戦略を策定、H28.8、R2.11地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定。
- ・地方創生先行型交付金（基礎分・先駆分、地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金（H28.第1回）、地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）を活用し、都内に窓口設置、移住ニーズ把握、お試し居住、交流拠点、健康ジムなどを整備。
- ・H30.7設立の「生涯活躍のまち・つる推進協会」（以下「推進協会」）の後継団体「一般社団法人 まちのtoolbox」がR2.1に発足